

# 十二月の俳句

( 2 0 2 2 / 1 2 )



## 目次

たべもの俳句	モロク俳句	歳時記俳句
10 ↳	5 ↳	1 ↳

1 2月の他の別名

茶月・弟月・健丑月・極月・巖月・限月・窮月  
・臘月・親子月・春待月・暮古月・雪月

(宇佐美保幸)メール・yasuyuki.usami@gmail.com

毎日の俳句は次のブログに

巢鴨とげぬき徒然俳句

<https://blog-haiku.777usami.com>

極月の池袋駅東西

十二月配達急ぎきびきびと

十二月並木眠れずLED

血圧も高止まりして十二月

十二月思考回路は崩れけり

エレベーターフル稼働する十二月

断捨離し寒晴れとなり我が部屋も

精一杯白を主張しお茶の花

山茶花やはらりはらりと散り急ぐ

霜柱過去踏みしめて大地かな

冬たんぽぽ中高年の孤独かな

横須賀に軍艦あまた雪が降る

雪の夜に赤羽で飲む一人酒



荒川線忘れられたる冬薔薇  
正義とは時にむなしく冬薔薇

マスコミは謝罪を求め蓮枯れる  
いけぶくろうお前もネズミ喰らうのか

無人駅誰が手入れの冬菜畑  
廃棄パンされど餓死あり冬の闇

マフラーしレトロなる町中華

侘助が順々に咲く行儀よく  
侘助の一花こぼれて老いにけり

東京に虎落笛あり格差あり  
冷戦の時代再び虎落笛

ポインセチア贈られもせずアパートに



冬ざれの郊外団地空き家かな

冬の月いつまで続くテレワーク  
財産もなき遺言や冬紅葉

山眠る吾もいずれに仲間入り

裸木に希望を託す日本人  
冬櫛空の果てまで虚飾なし

追い炊きしゆず湯の香り目をつむり  
お手玉に柚子で遊んで冬至風呂

君が代や日の丸こそと龍の玉  
コルク栓うまく抜けたぞクリスマス  
お坊様サンタとなってクリスマス

墮落して猿も温泉冬景色



忘年会演歌手拍子足拍子  
年の瀬は特番ばかり知恵もなし

歳わすれへべれけとなり年の暮れ  
毎度です失敗多く年の暮れ  
パソコンのゴミ箱掃除年の暮れ

ボデイソープローズの香り年惜しむ  
年惜しむその気も無くてテレビ見る

それぞれの胸に灯す灯年忘

歳とれば何も変わらぬ大晦日  
大晦日やることもなし第九聴く



モロク俳句

モロクしなどと気取りし十二月  
十二月モロクすれどただ感謝  
モロクしゆるく生きたり十二月  
モロクしあれこれ思う十二月  
モロクし芝居悲しく十二月  
モロクしこころ混沌十二月  
モロクし枕を抱いて十二月  
モロクしかたき笑いの十二月  
夢ばかり食べてモロク十二月  
極月や一本道をモロクす

モロクし冬眠ごときに過ごしけり  
モロクし気骨反骨耳袋

モロクし宇宙広すぎ炬燵かな



モーロクし足が戯る行火かな

モーロクしくしやみするたび記憶飛ぶ  
モーロクしくしやみはいつも突然に

モーロクし煮ゆる湯豆腐待ちきれず  
息白く生きてる証モーロクし  
モーロクしながく深く白き息

モーロクし絵空事にて蔦枯れる  
モーロクといふ怪物と冬ごもり

モーロクし気負うものなし葦雑炊

モーロクし愛しく思う侘助を  
モーロクしわびさび無縁侘助や  
侘助の淋しき落花モーロクす



短日もモロクすれば長がかりき

モロクし薄ら日に咲く冬薔薇  
モロクし孤独かみしめ冬の薔薇  
モロクしある憎しみに冬薔薇

モロクし無用な手帳を求めけり

パソコンもモロクする日山眠る  
山眠る眠れるままにモロクす  
モロクも進み永久かな山眠る  
山眠るモロク吾は悶々と

モロクし日本語忘れ冬の月  
冬の月急に饒舌モロクし  
冬の月煌々としてモロクす

モロクし猫の孤独と冬の日と



モ一ロクしポインセチアを遠ざける  
ポインセチア緋色まぶしきモ一ロクし

モ一ロクし腰の抜けたる仏名会

モ一ロクし骨の軋むや虎落笛

モ一ロクししないないづくしの虎落笛

モ一ロクしを恐れる暮らし虎落笛

モ一ロクし病むこと恐れ虎落笛

怒るなと笑うモ一ロク年の暮れ

モ一ロクし誰にまかせる年の暮れ

モ一ロクし起伏これあり年の暮れ

モ一ロクし乾燥進む冬至かな

モ一ロクしこころと体冬至粥

気の弱りモ一ロク進み冬至粥

ゆず湯してついつい長湯モ一ロクす



モ一ロクし故なく涙柚子湯かな  
モ一ロクし時間よ止まれ冬至風呂

モ一ロクし枯れ落ちるかなクリスマス  
数へ日の何もない空モ一ロクす

モ一ロクし心の煤は払い得ず  
モ一ロクしおでんの卵二個も食べ  
モ一ロクし愚痴と自慢のおでん酒

年行くやモ一ロク余生壊れもの  
モ一ロクし陰と輝き冬満月

モ一ロクし木星の重さ風邪をひく  
風邪ひいて少し安心モ一ロクし  
モ一ロクし水洩勝手に垂れにけり

モ一ロクし数を数えて大晦日



たべもの俳句

白菜を干す庭先のこぼれ日や  
四つ割りに問答無用白菜を  
白菜をシンプルに焼きステーキに  
白菜とツナをとるとろ蒸し煮して  
とろとろの麻婆白菜あつあつで

コトコトと煮豚の匂い日短か

大根とぶりのみそ汁コラーゲン

超格差超高級な焼芋も

冷凍のたこ焼きチンして十二月

男なら厚さそろわず大根煮



煮大根だしがいのちだことと  
雪が降り大根炊きは味が染む

ブロツコリー塩少々で蒸し焼きに  
すいとんに肉が入りし開戦日

湯気の中おでん卵が鎮座する  
哲学は学者に任せおでん酒  
哲学者やはり日本はおでん酒

ほっこりとたまご雑炊胃に優し  
牡蠣うまみスープじんわり雑炊に

外は雪熱々素麺一味ふり  
核兵器トマトおでんで我慢せよ

油揚げからりと炙り熱燗で  
熱燗に備前ぐい呑み手になじみ



熱爛もいろいろありて紹興酒

れんこんをからりと揚げて揚げ浸し  
レンコンを強火で焼いて塩こしょう

松阪牛吾に無縁の年の暮れ  
平穩が続け続けと蜜柑剥く

このごろは冬至南瓜惣菜屋  
湯豆腐や捨てたる夢を数えつつ

生牡蠣はアダムとイブの禁忌かな

独り者今日も定食クリスマス  
豚汁に唐辛子振るクリスマス  
串焼きもスピエデイーノとクリスマス

赤ワインポインセチアと競い合う



鰯大根男作りてひとり喰う  
鰯しやぶやヒラリヒラリと泳がせて

マグロなら産地を問わず葱鮪鍋を  
ほろほろに手羽元煮込みネギ鍋を

贈答のハムありがたく年暮れる  
三分間待つだけカツ山眠る

すき焼きに微分積分無関係



